

## 2. 観光商工部

### (1) 沖縄IT津梁パーク・中核機能支援施設B棟

#### 施設概要

所在地：うるま市字州崎  
工期：平成21年10月～平成22年9月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上6階建  
敷地面積：10,000.00m<sup>2</sup>  
延べ面積：B棟 5,975.00m<sup>2</sup>

#### 計画概要

沖縄IT津梁パークは、うるま市州崎の特別自由貿易地域に位置し、情報通信関連産業の一大拠点の形成を目的としている。「津梁」（しんりょう）には日本とアジアを結ぶ架け橋として、ソフト開発、IT産業の人材育成で、アジアとの積極的な交流の期待が込められている。

中核機能支援施設B棟は、沖縄の強い日差しを和らげるプレキャストルーバーにより外観を構成し、「リゾート&IT」を基本コンセプトに快適な知的創造活動を支援する施設となっている。



施設外観



エントランスホール



外部ルーバー



オフィスアセンター



### (2) 沖縄IT津梁パークBPOセンター（企業立地促進センター）

#### 施設概要

所在地：うるま市字州崎  
工期：平成22年3月～平成22年8月  
構造・階数：鉄骨造 2階建  
敷地面積：10,000.00㎡  
延べ面積：2,819.06㎡

#### 計画概要

企業立地促進センターは、沖縄IT津梁パークにIT企業の立地を促進するため、民間資金を活用した民間IT施設が完成するまでの間（概ね3年以内）企業の入居準備を支援するインキュベーション的な機能を有する施設である。



北側外観



エントランスホール



多目的室

### 3. 土木建築部

#### (1) 中城公園自然学習エリア・自然共生エリアトイレ

##### 施設概要

所在地：北中城村字萩道平田原、中城村字登又平田原  
工期：平成21年12月11日～平成22年4月15日  
構造・階数：壁式鉄筋コンクリート造 平屋建て  
敷地面積：自然学習エリア：13,255㎡ 自然共生エリア：5,486㎡  
延べ面積：自然学習エリア：49.12㎡ 自然共生エリア：49.12㎡

##### 計画概要

当施設は、県の中城公園整備事業の一環で、自然環境ゾーンの中の自然学習エリア・自然共生エリアそれぞれの駐車場に設置する公衆トイレである。 緑豊かな中城城址公園環境に調和するよう外観デザインは、屋根に県産S型瓦、外壁にはトラバーチンを使用し、また、安全性と採光・換気通気に配慮した、マスブロック、ガラリ、ガラスブロックを取り入れた。

施設においては、公園内の公衆トイレであるため、様々な人達が利用することから、利便性、快適性、清潔感に配慮した設計とした。手摺・ベビーシート・ベビーチェアー・オストメイト対応設備を設置し、また、ピクトサイン表示を設け、誰にでも使い易い設計とした。



正面側外観



内観女子トイレ(自然学習エリア)



内観多目的トイレ(自然共生エリア)



### (2) 中城湾港(新港地区) 東ふ頭上屋

#### 施設概要

所在地 : うるま市州崎  
 工期 : 平成22年3月～平成22年10月  
 構造・階数 : 鉄骨造 2階建  
 敷地面積 : 20,691.9㎡  
 延べ面積 : 1,253.23㎡

#### 計画概要

当該施設は、県外へ搬出される船舶荷物（セメント、工業製品等）、及び、本土、外国から輸入される船舶荷物（肥料、農業用飼料、生活物資等）の一時保管施設であり、運営にあたっては倉庫施設、事務所棟は荷役会社と賃貸契約となる。

建築場所は、船舶が接岸する港に接した場所にあるため、防潮対策のため腰壁部分にRC壁を設置し、床高をGLより55cm上げて計画している。



倉庫棟



管理棟

### 3. 土木建築部(住宅課)

#### (3) 県営豊見城団地(第1期)

##### 施設概要

所在地 : 豊見城市字平良大城原  
建設工事 : 平成22年2月～平成23年2月  
構造・階数 : RC造 地上6階建  
敷地面積 : 4,615.58㎡  
建築面積 : 931.33㎡  
延べ面積 : 3,556.42㎡

##### 計画概要

県営豊見城団地は昭和53年に建設されたが、施設の劣化・老朽化に伴い建替えを行った。本工事では「一体感の創出」をコンセプトに緑が溢れ潤いのある空間を整備し、「コミュニケーションの促進」を促す施設の構築を目標とした。また、廊下側の手すりをコンクリート壁ではなく金属製の手すりにして、日照や通風の確保に配慮した。



外観



内観



洗面所



### (4) 県営名護団地 (第1期)

#### 施設概要

所在地：名護市大北  
 建設工事：平成21年10月～平成23年1月  
 構造・階数：RC造 地上8階 (第1期)  
 敷地面積：5,559.72 m<sup>2</sup>  
 建築面積：659.47 m<sup>2</sup>  
 延べ面積：4,483.16 m<sup>2</sup>

#### 計画概要

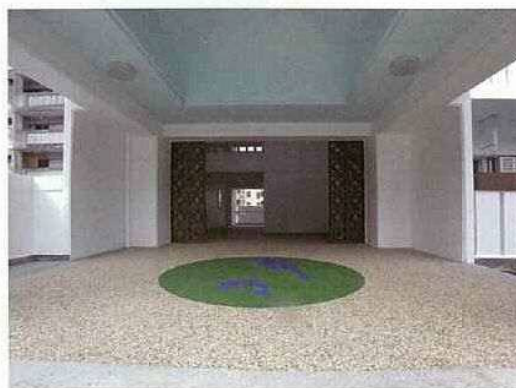
昭和48年から昭和51年にかけて建設された名護団地のうち、240戸を施設の劣化・老朽化に伴い建替えをお行っている。  
 子育てし易い環境づくりや、団地コミュニティ及び周辺まちづくりの充実等、どの年代層も住みやすい『元気を育む』住環境を目指している。また、住棟を東西方向に配置することで住戸は全て南向きとし、日照や通風の確保、既設住戸との調和を計るよう配慮し、隣棟間隔を広くとることで死角を作らないように計画している。



外観



内観



エントラ

### 3. 土木建築部(住宅課)

#### (5) 県営上田団地

##### 施設概要

所在地：豊見城市字上田  
建設工事：平成20年10月～平成22年5月  
構造・階数：RC造 1号棟：地上11階、2号棟：10階建、3号棟：4階建 駐車場棟：平屋建  
敷地面積：7,206.96m<sup>2</sup>  
建築面積：3,239.84m<sup>2</sup>  
延べ面積：11,812.05m<sup>2</sup>

##### 計画概要

県営上田団地は、施設の老朽化による、居住性、避難経路、構造等の機能低下により、危険度の解消と居住水準及び住環境の向上を図るために建替を行った。平成19年より既存施設を解体し、平成22年に1号棟59戸、2号棟60戸、3号棟9戸、計128戸と付帯施設として駐車場棟が完成した。

外部色彩は、圧迫感がない色彩を採用し、隣接する周辺住宅、病院等に配慮した。人、車の動線を明確に分け、安全を確保、また高齢者、障害者にも優しい住戸・配置計画とした。コミュニティの維持を計るため集会室の前をホールとし大集会に対応、地域活動の発展・向上に対応した施設としている。



外観



台所



居室



### (1) 美里高校校舎

#### 施設概要

所在地	地：沖縄市
工期	期：平成21年8月14日～平成23年3月15日
構造	造：RC造4階建
延べ面積	積：7,434.53㎡
建築面積	積：2,374.03㎡

#### 計画概要

美里高校は昭和53年の開校から30年を経過し、施設の老朽化に伴い普通教室棟及び特別教室棟の改築を行うこととなった。

配置計画では、既存建物より建築面積を小さくする事により空地进行を設け植栽を行うとともに、学校側の要望である既存の樹木「ガジュマル」を残すことにより緑化への配慮を行った。

施設計画は採光、通風に配慮して平面計画を行い、普通教室棟と管理棟の段差を解消しバリアフリーを実現するとともに、雨水利用を計画し、洗浄水や植栽への散水に使用し環境への配慮を行った。



普通教室棟



陶芸教室



音楽教室



## 4. 教育庁

### (2) 豊見城高校校舎

#### 施設概要

所在地	地	豊見城市
工期	期	平成22年3月11日～平成23年3月20日
構造	造	校舎管理棟:RC造3階建て
建築面積	積	1604.28㎡
延床面積	積	3438.72㎡

#### 計画概要

今回の工事は、校舎の中の管理棟1棟だけの建て替えとなっている。したがって計画としては、学校全体における校舎等の配置状況を検証して、より効率的な管理棟の配置状況を考慮し、かつ、管理棟として職員が教育活動を行いやすい職場環境が提供できるように心がけた。

次に学校の「顔」としての管理棟のイメージの具現化を計り、限られた予算の中で、よりよい教育環境を目指し、将来の展望においても支障のないよう計画を行った。



校舎管理棟 外観写真(1)



校舎管理棟 内観写真

### (3) 那覇高校屋内運動場及び水泳プール

#### 施設概要

所在地：那覇市  
 工期：平成21年6月～平成22年7月  
 構造・階数：RC造・SRC造・一部S造 地上4階  
 敷地面積：24,840m<sup>2</sup>  
 延べ面積：4,089.874 m<sup>2</sup>

#### 計画概要

那覇高校は創設から地域に根ざした学校として、これまで数多くの人材を輩出し地域社会や教育に大きな役割を担ってきた。既存の屋内運動場及び水泳プールの老朽化に伴い安全に学校教育を行う事が困難である為改築を行った。

今回の改築においては、既存の施設と同規模の運動スペースの確保、既存の施設では不十分であった更衣スペースを充実させる事により、体育の授業はもとよりクラブ活動の活性化による向上心の育成、各種行事における学習発表の場を通して、自主性が発揮出来る施設を目指した。



外観



プール



アリーナ



## 4. 教育庁

### (4) 宮古総合実業高校校舎

#### 施設概要

所在地：宮古島市平良字西里  
工期：平成22年 3月27日～平成23年 2月28日  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建  
敷地面積：42,225m<sup>2</sup>  
延べ面積：1,306.65m<sup>2</sup>

#### 計画概要

宮古総合実業高等学校は、翔南高等学校と宮古農林高等学校が統合して新たな学校としてスタートした施設である。広大な敷地にある既設校舎とのアクセスがスムーズになる様に配置計画し、生徒の興味関心及び進路に応じた学習が展開できるような建物を心掛けるとともに、バリアフリーとしての利用円滑経路として多様な利用者に対応できるものとした。



外観



内観



外廊下